

令和6年度

湖南省教育委員会事業評価

湖南省教育委員会

評価報告書

令和6年度

湖南省教育委員会評価委員会

令和6年度 湖南省教育委員会評価委員会の実施について

本委員会では、湖南省教育委員会事業評価について、今日までの評価項目全体を評価するのではなく、毎年度実施する所管課の最終評価を踏まえ、年度当初所管課が重点的に取り組む事項として掲げた重要項目に対し、委員会として評価を行っている。

令和6年度は、別紙に掲げる主要5事業を対象とし、所管課の作成した教育事業評価シートにより事業の実施内容、成果・課題等についてヒアリングを行い、各委員からの意見をもとに、総評および各項目に対する講評を行った。

今後は、本報告書に記載してある評価をもとに令和7年度以降の取組の改善を進められ、さらなる本市の教育の向上を願うものである。

令和7年3月31日

湖南省教育委員会評価委員会

外部評価実施内容

- ① 日 時 令和6年6月20日（木）午後1時30分から
場 所 湖南省役所西庁舎 2階教育委員会室
- ② 日 時 令和7年2月27日（木）午後3時00分から
場 所 湖南省役所西庁舎 2階教育委員会室

評価体制

外部評価委員（評価委員会委員）

- 若 槻 健 （委員長）
- 中 村 善 司 （副委員長）
- 平 地 幸 美
- 小 島 妙 子

評価対象事業数

5事業（令和6年度最終評価シート48項目の内）

対象事業

- 資料No.54（教育総務課）
 - ・学校給食の効率的な運営
- 資料No.1（学校教育課）
 - ・人生100年時代を生き抜く力の育成
- 資料No.2（学校教育課）
 - ・キャリア教育の推進
- 資料No.3（学校教育課）
 - ・多文化共生の推進
- 資料No.31（図書館・教育支援課）
 - ・公立図書館の充実

【総 評（全体）】

今回、教育委員会事業評価の基となっている第2期湖南省教育振興プランの計画が令和2年度にスタートし、最終評価となった。

令和6年度事業の所管課評価（最終）は、おおむね目標どおりの取り組みが行われた。

このことについて、関係各位のご尽力に敬意を表するとともに、今後も同プランに基づきながら計画的に執行されたい。

また、湖南省教育の強み、そしてまた課題のあるところを、最終評価で確認したうえで、次に進んでもらうための材料とされたい。

そして、今回が最終評価という節目の年であり、今後5年間の事業を改めて考えることができるタイミングである。目標や数値を考える際に、これまで5年間の目標と数値が合っていなかった部分のすり合わせを行い、全体の評価を見ると、すでに達成した事業もあったため、新しい事業を考えるチャンスだと考える。

また、重点事業は、湖南省教育の強みを伸ばせる、湖南省教育の魅力をアピールできる事業や課題のある事業を意識して重点事業という形で設定することで、湖南省教育の強みを生かす事業評価が出来ると思う。

令和7年度は第3期湖南省教育振興プランが4月から施行され、新しい計画となるが、引き続き、「～学校・家庭・地域が連携し、それぞれが責任を持つ教育の創造～子どもの育つ力を信じ、夢と志を育て未来を拓く「生きる力」の育成」の実現に向けて事業を推進されることを期待して総評とする。

【講評（事業別）】

○資料No.54（教育総務課）

- ・学校給食の効率的な運営

【コメント】

- ・ 小学校の残食率よりも中学校の残食率が高いため、評価の中でも書かれている、残食率を下げる対策に引き続き取り組んでいただきたい。
- ・ 物価高騰の中で、予算の範囲内で事業を行うことはとても難しいことであるが、調理委託になり業者の方が入った中で、栄養バランスと量を考えた給食を提供するという事は、大変な苦労があると考えます。今後も引き続き公と民の協力を期待する。
- ・ 特に最近では食べられない・好き嫌いよりも、食文化や食生活が変わったことで、食べたことがない給食を食べられない子どもの増加も残食率に影響していると考えます。
- ・ 食指導において何が出来るのかを考える際に、予算的なことなどハード的なことが話に上がるが、屋外給食や児童への声かけを行うなど、食事と出会う場面で毎日できることも多くあり、食を楽しむ取組を頑張っていただきたい。
- ・ 家庭への働きかけはなかなか難しいとは思いますが、地域や家庭と連携していくのも大事であり、広げていく必要がある。

○資料No. 1（学校教育課）

- ・ 人生 100 年時代を生き抜く力の育成

【コメント】

- ・ 子どもたちがアンケートのオンライン化に慣れ、アンケートの回収率が上がったことは、とても良いことである。
- ・ 取り組んだことを振り返る、評価手法としてアンケートに回答するだけでなく、子どもが振り返りを通して、次に生かせる目標に気付くきっかけとなることも期待したい。
- ・ 子どもたちの学びの力がどうついたか、と考えていくことはとても大事だが、自分で気づくことで、ステップアップすることもあるため、今後につながるような形で回答することを希望する。
- ・ 中学校区によって質問の内容が異なるため、強い肯定的な回答をした児童生徒の割合の平均ばかりではなく、各中学校区でどう変化しているのかというところに目を向けていくことが重要である。

○資料No. 2 (学校教育課)

・キャリア教育の推進

【コメント】

- ・ キャリア教育の推進は、とても大事なことであり、引き続き内容の充実に努めていただきたい。
- ・ 地域の方とのふれあいや語らいを大切にすることはもちろんであるが、まちづくりへの参加や、伝統行事を受け継ぐという基本的な活動も自尊感情を育てることに大きく影響してくる。自分がこの地域で生きている喜びを感じられるように学校で学習を行っていただきたい。
- ・ チャレンジウィークに取り組むことで、課題があったとしても生徒たちはよく頑張れていると感じる。
- ・ キャリア教育を通じて自分を見直しながら、よりよい自分につながる日常生活をする大切さを大事にしてほしいと考える。子どもを褒めることで自信を持たせ、自尊感情を高めることが、将来にも繋がっていくことから、人間形成のキャリアであると感じる。
- ・ キャリア教育の視点から年間計画を作成している学校の実績値が、令和2年度の2校から令和5年度以降13校になっているということは、非常によい。

○資料No. 3（学校教育課）

・多文化共生の推進

【コメント】

- ・ 湖南省の特性をふまえると、多文化共生という部分をととても大事にしていきたい。
- ・ ポケトークで自分の気持ちが相手に伝わる喜びを感じ、学校の仲間に入っていく、一緒に生きていく楽しさ、そして将来についても語れる、仲間ができていくということを大切にしていきたい。
- ・ 各校でいろいろな交流活動に取り組まれているが、その成果を生かすことで、在籍している外国籍の子どもたちの日本での生活が変化すると考える。休み時間の交流など、小さな体験や学びが子ども同士をつないでいけると考える。
- ・ ポケトークだけでなく、1人1台タブレット端末に内蔵されている翻訳や通訳アプリなども併用して、翻訳機器を配置することで、子どもたちや保護者が安心できるような環境づくりを期待する。
- ・ 外国籍の子どもたち含め、湖南省の小中学校に通う子どもたちが全員安心して学校生活を送れているかというのは、多文化共生の指標のひとつになるため、今後の数値目標設定時に安心して学校生活を送っているかということをはかる指標にするよう検討されたい。

○資料No.31（図書館・教育支援課）

- ・ 公立図書館の充実

【コメント】

- ・ 令和5年度の実績値と比べると減少しているが、人口減少や人口構成の変化から、極端に悲観するような数字ではなく、貸出しの人数等が増えていることから、本来の図書館の機能は維持されていると感じる。
- ・ 評価委員会で出た課題解決のための意見がとても反映されており、大変喜ばしいことである。コロナ禍の中で図書館運営はとても大変であっただろうが、それを乗り越えてこられ、来庁者数も増えている。図書館は、居心地のいい場所ということが大事であり、これからの生涯学習とも結びついていくところであると考える。
- ・ 全国的に大人の読書率が減少していることを問題として捉え、不易と流行ではないが、図書館が繰り返しされている取り組みに加え、新たな取り組みの必要性を感じる。
- ・ 利用案内チラシやホームページ、電子図書館を活用し、利用していない方や来館しにくい方などに対しての取り組みを積極的に行っていることは素晴らしいことである。

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	1	主体的・対話的で深い学びの充実

2. 具体施策の概要

具体施策	人生100年時代を生き抜く力の育成
内容	学習指導要領や全国学力・学習状況調査の分析結果をふまえ、毎年「湖南省学ぶ力向上策」および「我が校の学ぶ力向上策」を作成し、授業改善や学校・学校集団づくりに取り組みます。また、中学校区ごとに「めざす子どもの姿」を共有し、中学校区連携を重視した学校教育を推進します。課題解決力・コミュニケーション力といった資質・能力の育成に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	各中学校区で設定した「めざす子どもの姿」に関するアンケートで強い肯定的な回答をした児童生徒の割合 ※中学校区ごとにめざす子どもの姿が異なり、それに応じてアンケート項目も異なるため、中学校区ごとに割合を出し、4つの中学校区の割合の平均を目標値にしています。
実績値(令和2年度)	30.1%(中学校区ごとの割合の平均) 石部:26.8% 甲西:26.3% 甲西北:34.6% 日枝:32.8%
実績値(令和3年度)	29.0%(中学校区ごとの割合の平均) 石部:28.8% 甲西:25.5% 甲西北:30.7% 日枝:31.2%
実績値(令和4年度)	29.5%(各中学校区ごとの割合の平均) 石部:32.1% 甲西:22.1% 甲西北:28.6% 日枝:35.2%
実績値(令和5年度)	23.9%(各中学校区ごとの割合の平均) 石部:26.8% 甲西:20.8% 甲西北:24.5% 日枝:23.5%
数値目標(令和6年度)	30%(各中学校区ごとの割合の平均)
実績値(令和6年度)	30.5%(各中学校区ごとの割合の平均) 石部:33.0% 甲西:29.3% 甲西北:28.6% 日枝:31.2%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	各中学校区にて設定した「めざす子どもの姿」に関するアンケート項目は以下のとおりです(数値は7月実施アンケートの結果)。 石部中学校区「授業では、仲間の考えを聞き、互いに伝え合っている」37.1% 甲西中学校区「問題解決に向けて、友だちと考えを出し合い、話し合う中で自分の考えを高めている」26.7% 甲西北中学校区「学習を通して、自分の考えを広げたり、深めたりしている」29.9% 日枝中学校区「相手の思いや考えを聞き、自分の思いや考えを話している」34.4% 各中学校区ごとの割合の平均は32.0%であり、年度当初の数値目標を達成している校区もあります。今後も引き続き、めざす子どもの姿に迫る取組を各校にて工夫して継続します。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	中学校区ごとにめざす子どもの姿を設定し、湖南省教育の取組の1つとして推進してきました。アンケートは、年3回実施し、各中学校区ごとに集計および分析を行い、校長会や学校訪問等で報告しています。第3回目の市の平均は30.5%で目標値を達成することができました。 令和5年12月アンケートよりアンケートのオンライン化を進めました。その手法に対して、教師も子どもも慣れてきたこともあり、昨年度よりもアンケートの回収率が高くなりました。今後も経過や児童生徒個人の様子を丁寧に見守りながら、中学校区それぞれの課題を明確にして改善するように、2月13日、湖南省子どもの学びづくり委員会にて指導しました。来年度も、中学校区ごとの小中学校の連携をより一層強め、めざす子どもの姿に近づくための具体的な取組を共通理解・共通実践していきます。	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D <input type="radio"/>
------------	---	--

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	2	キャリア教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	キャリア教育の推進
内容	<p>キャリア教育を効果的に展開していくためには、特別活動を学校教育全体で行うキャリア教育の要として位置付け、これからの学びや生き方を見通し、これまでの活動を振り返るなど、自己の将来や社会づくりにつなげていく学習活動を充実させることが重要です。</p> <p>そのために年間計画を見直し、小中学校のつながりが明確になるよう整理します。またその実施にあたっては、職場体験活動や社会人講話などの機会の確保に努めます。さらに職場体験活動などの固定的な活動だけに終わらないよう、地域の方とのふれあいや語らいを大切に、将来、児童生徒が社会のなかでの自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現させていくための資質・能力を育みます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	キャリア教育の視点からの年間計画の策定
実績値(令和2年度)	2校
実績値(令和3年度)	5校
実績値(令和4年度)	13校
実績値(令和5年度)	13校
数値目標(令和6年度)	13校
実績値(令和6年度)	13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>各校で年間計画に沿って学習を進めています。中学校では、チャレンジウィーク(職場体験学習)として各校3日間、職場での勤労体験活動を行っています。今年度、甲西中学校では、探求型職場体験サポートブック「ジョブトライアル」を採用し、事前学習から体験、事後学習に至るまで体系的な学習を進めています。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>各校で年間計画に沿って学習を進めることができました。中学校では、チャレンジウィーク(職場体験学習)として各校3日間、職場での勤労体験を行いました。また、小中学校とも様々な業種の方を講師として招き、講演をいただくなどの取組ができました。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	3	多文化共生教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	外国人児童生徒への学習支援	
内容	さくら教室において、来日して間もない子どもに日本語指導や適応指導を行うとともに、必要に応じて教科などの指導を行って外国籍の子どもたちの学習権を保障します。 外国籍の子どもが多い学校に母語ができる人材を派遣したり、翻訳機器を配置することにより、子どもたちや保護者が安心して過ごせる教室環境をつくります。	
具体施策	多文化共生の推進	
内容	日本の伝統や文化を理解・継承していこうとする態度を養うとともに、外国の文化や考え方を理解して尊重する態度、異なる文化を持った人々とともに互いを認め合いながら生きていく力を育てます。	

3. 数値目標

内容(指標)	外国籍児童生徒支援、保護者対応のための翻訳機器の配置
実績値(令和2年度)	19台
実績値(令和3年度)	19台
実績値(令和4年度)	20台
実績値(令和5年度)	20台
数値目標(令和6年度)	26台
実績値(令和6年度)	24台

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	児童生徒や教職員に配布されているタブレットに内蔵されている翻訳・通訳アプリと併用していますが、ポキータク(翻訳機器)は翻訳の精度の高さ、使いやすさから、有効に活用されています。 令和6年度第1回日本語教室窓口担当者会において、今年度の取組の重点を検討し、文化交流の充実について話し合いを行いました。その結果、各校の多文化共生教育の推進に向けた取組の実践交流をすることとなりました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	計画的な購入により、数値目標を達成することができました。しかし、年度途中で適切に使用していたなかで、充電バッテリーや押しボタンの劣化、破損があり、最終的には、目標台数にあと2台足りない状況です。 年間3回行っている日本語指導窓口担当者会において、昨年度から、各校の多文化共生教育の取組について、実践交流を行っています。各校からは、外国の文化について学ぶ活動や、外国にルーツのある子どもが、自文化について発表する活動が紹介されるなど、市内小中学校で多様な学びを共有することができました。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	1	変化の激しい時代を生き抜く力を育む
施策	4	主権者教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	主権者教育の推進	
内容	本市では、政治の仕組みについて必要な知識を学ぶだけでなく、主権者として社会のなかで自立し、他者と連携・協働をしながら、社会を生き抜く力や社会の構成員の一員として主体的に地域課題を解決する力を育てます。また、高校生になってからの主権者教育だけではなく、発達段階に応じて、小学校の段階から主権者教育に取り組めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	各小・中学校の各教科や特別活動における学びと地域へつなげる取組 (地域行事への参加・参画)
実績値(令和2年度)	13事例
実績値(令和3年度)	13事例
実績値(令和4年度)	13事例
実績値(令和5年度)	16事例
数値目標(令和6年度)	26事例
実績値(令和6年度)	26事例

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	主権者教育の推進のために、現在、小・中学校では、社会科の公民の領域において、政治について学習しています。また、小学校では、実際に東庁舎を訪れ、議会の仕組みについて学んだり、湖南省のまちづくりに関わって、市役所の仕事について話を聞くことで、社会の一員として、自分ができることは何かを考える学習に取り組んでいます。令和6年度全国学力・学習状況調査の生徒質問紙での「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の項目では、中学校において肯定的回答が全国平均を上回っています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	各校で工夫して、自分たちの学校や湖南省のまちづくりについて、よりよくするための取組を考えることができました。特に今年度の主権者教育の取組では、政治の仕組みや選挙のことについて学習するだけでなく、自分の学校やまちづくりの課題について、自分事としてとらえ、自らできることを考え行動する「実感の伴う学び」を、各学校で工夫して取り組むことができました。次年度も、各校の取組の情報共有を進めながら、さらに充実した取組ができるよう進めていきます。	A ⊙ B C D
------------	---	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	「授業の湖南省スタイル」による授業実践校数
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	教育委員会で作成した「湖南省学ぶ力向上策」を踏まえて、全小中学校において、「我が校の学力向上策」を定め、各校にて取組を進めています。また、普段から「授業の湖南省スタイル」による授業実践を意識し、教職員アンケートでは、7項目中2項目において、年度当初よりも上昇がみられます。この中には、今年度重点として挙げていた「子どもたちが安心して、意欲をもって学べるように環境をつくることのできている」の項目が入っており、職員の意識改善、指導力の向上が見られます。一方、「普段の授業で、子どもたちが学びを自覚したり、次時への学習意欲をもてたりできるように「ふりかえり」を書かせている」の項目が、76.0%であるため、9月以降も、校長会や教頭会、学校訪問などにおいて、改善策について指導を行っていく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も、湖南省や各校で定めた「学ぶ力向上策」に沿って、市内すべての小中学校で授業改善に取り組みました。教職員アンケートでは、7項目中5項目で年度当初よりも上昇がみられ、教職員が、日々「湖南省スタイル」をベースとして授業づくりを進めてきた成果が現れています。次年度は教師の笑顔や声かけ学習規律の確立など、「学びの環境づくり」の視点で「湖南省スタイル0」をさらに確かなものにできるよう、全教職員に明示し、よりよい授業実践ができるよう指導していきます。	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇（取組内容・方法）で△△（高めようとする力・態度）を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善（授業の湖南省スタイルの定着化）」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館を活用した授業実績(年間)
実績値(令和2年度)	小学校 857回 中学校 279回
実績値(令和3年度)	小学校 997回 中学校 358回
実績値(令和4年度)	小学校 1,092回 中学校 340回
実績値(令和5年度)	小学校 1,352回 中学校 364回
数値目標(令和6年度)	小学校 1,385回 中学校 380回
実績値(令和6年度)	小学校 1,396回 中学校 230回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	例年通り、学期が始まる前に事前相談会を実施して、授業での活用について授業者と学校司書が打合せをする時間を確保しています。 各校で実践した授業を、学校司書定例会で学校司書が模擬授業を行い、好事例の横展開を図っています。事前相談会で、学校司書定例会で学んだ実践を授業をする者に提案し、他校で実践することができたという報告を受けています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	学校司書によるブックトークや調べ学習における授業支援を行う際に、参加者は児童生徒と同じ授業支援ソフトを使用して個別最適な学びと協働的な学びを体験することができました。学校司書が体験することで、本で調べるよさとインターネットで調べるよさの両方を考えた授業づくりにもつながってきました。	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D <input type="radio"/>
------------	---	--

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成	
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。	
具体施策	「楽しくて力がつく湖南省教育」の実現	
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力がつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。	
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組	
内容	「ことばの宝宝箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	「ことばの宝宝箱」を活用した暗唱などに取り組んだ学校数
実績値(令和2年度)	全小学校9校
実績値(令和3年度)	全小学校9校
実績値(令和4年度)	全小学校9校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 中学校1校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 中学校1校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 中学校1校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	全小学校と中学校1校で、音読活動で利用されています。小学校では、地域のボランティアさんに成果を披露したり、担任や管理職が暗唱を聞き取ったりする取組を実施している学校もあります。中学校での更なる活用を促しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	中学校でも利用したいという申し出があり、活用が広がっています。音読や詩の学習をする際に、参考教材としても活用されています。	A (B) C D
------------	---	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	1	基礎学力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	「自覚して学ぶ」姿の育成	
内容	各学校において共通実践「我が校は〇〇(取組内容・方法)で△△(高めようとする力・態度)を学力保障する」に取り組み、真摯に学ぶ機会、一人ひとりに応じた学びの機会を保障します。 コミュニケーション力・論理的思考力・学びに向かう力・人間性などの「非認知能力」育成を重視し、「学び手としての自覚」を育てます。	
具体施策	「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現	
内容	「湖南省学力向上プロジェクト」において「授業改善(授業の湖南省スタイルの定着化)」、「読書活動」、「家庭学習の充実」を推進するとともに、結果として「子どもの夢と志を育て、『生きる力の根っこ』を太くする」ための土台となる自尊感情の向上に取り組みます。 「楽しくて力のつく湖南省教育」の実現のために、中学校区連携を進める中で学習方法の連続性や共通実践など保幼小中が連携した効果的な指導方法の工夫改善に努めます。 「学力向上ワーキンググループ」は市内小中学校教員が主体的にメンバーとなり、「授業の湖南省スタイル」、「授業のポイント5」を活かした具体的な授業提案を行い、学力向上委員会のメンバーとともに授業改善の推進役を担います。 また、継続的な朝の読書活動などを通じて読書の習慣化に努めるとともに、学校図書館とその機能、および学校司書を活用した授業を積極的に推進します。	
具体施策	語彙の量と言語の質を高める取組	
内容	「ことばの宝石箱」や「湖南省の小さな詩人たち事業」の取組を積極的に活用し、語彙を増やし、言葉に対する豊かな感性を磨くよう努めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	「湖南省の小さな詩人たち事業」の作品作りに取り組んだ学校数
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	小さな詩人たち事業は10月末まで全小中学校で作品づくりに取り組みます。校内選考ののち、11月7日の国語主任会で二次選考を行います。11月19日には選者の先生に最終選考を行っていただく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	二次選考会と最終選考会を実施し、今年度の優秀作品を選びました。作品作りを通して、新しいことばに出会い、楽しむことができました。また、友達と作品を交流することで、自分だけでは思いつかなかった新しい発想を得たという報告を受けています。今年度は、短歌の作品が増えていたので、次年度も短歌への挑戦も期待しています。	Ⓐ B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	2	育ちと学びをつなぐ教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携	
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保することで、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。	
具体施策	小・中学校の連携	
内容	各中学校区で授業参観や連絡会などの開催、出前授業や合同授業などを通して、情報交換や交流を行い、子どもの連続した育ちと学びを支援できるよう、さらなる連携を図ります。	

3. 数値目標

内容(指標)	小・中学校における相互授業参観・授業研究
実績値(令和2年度)	5回
実績値(令和3年度)	9回
実績値(令和4年度)	10回
実績値(令和5年度)	17回
数値目標(令和6年度)	12回
実績値(令和6年度)	12回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	「学力向上アドバイザー学校訪問兼生きぬく力の礎育み推進事業」において、1学期に全中学校区の小中学校で相互参観し、共通実践の確認や意見交流の機会をもちました。2学期以降にも各中学校区で1回、中学校区連携を目的とした授業研究会を行う予定です。 ことばの教室の園訪問、就学支援に係る園訪問などを実施し、園児の観察や支援についての助言を行うなど、連携を図りました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	「学力向上アドバイザー学校訪問兼生きぬく力の礎育み推進事業」において、1学期に全中学校区の小中学校で相互参観し、共通実践の確認や意見交流の機会をもちました。2学期以降にも全中学校区で園や小中学校の教員が相互参観し、授業研究会を行いました。研究会では各中学校区が目指す子どもの姿の実現に向けて、園や小中学校で連携して取り組んできたことの成果と課題を共有しました。	A ⊙ C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	2	確かな学力を育む
施策	3	家庭学習支援システムの構築

2. 具体施策の概要

具体施策	家庭学習支援システムの構築
内容	子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されないよう、国よりも先取的な「湖南省発達支援システム」を参考に、教育委員会部局・市長部局・関係機関が有機的に関連しあう、「湖南省家庭学習支援システム」を構築し推進します。 教育委員会が「家庭学習支援システム」の窓口として対象者を把握し、子どもたちの家庭学習支援に積極的に関わります。

3. 数値目標

内容(指標)	らくらく勉強会の実施
実績値(令和2年度)	全小学校6校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校7校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度も市内すべての小中学校にて、らくらく勉強会を開始しています。開始時期については、5月:小学校6校、6月:小学校9校、中学校3校、7月:小学校9校、中学校3校です。年度の早い時期から体制を整え、開催をする学校が増えてきています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度も、市内すべての小中学校にて、らくらく勉強会を実施することができたことが、大きな成果であると受け止めています。今年度の実施回数は、1月末現在で、小学校が284回、中学校が47回、参加人数は延べ6,594人です。2月も、多くの小中学校で実施しています。校区によっては、支援員の確保や運営方法等で苦慮している学校もありますが、次年度も地域の方々の方々のあたたかい支援を受け、児童生徒の家庭学習の習慣化や、放課後の居場所づくりのために、すべての小中学校で取組を実施していきたいと考えています。	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性の多様性などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。また、昨年度末改訂した基底プランが、現状の人権課題に沿ったものとして、人権保育・教育が推進できるよう、授業研究会や研修会の場を活用しながら、内容の理解、周知を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	中学校区ごとの主任など連絡会議の開催回数
実績値(令和2年度)	各6回
実績値(令和3年度)	各6回
実績値(令和4年度)	各6回
実績値(令和5年度)	各6回
数値目標(令和6年度)	各6回
実績値(令和6年度)	各6回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	市内の各校園の人権主任が集まる会議を、どの中学校区も3回行っており、就学前から高校までの子どもの情報交換を行い、連携して動く体制を構築しています。基底プランについて、授業研究会で理解、周知を行うだけでなく、各中学校区で学習会を1回ずつ行っています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内の各校園の人権主任が集まる会議を、各中学校区で6回ずつ行いました。会議の中で就学前から高校までの子どもの情報交換を行い、連携して関わることができたことができました。基底プランについては、授業研究会で理解、周知を行うだけでなく、各中学校区で小中学校の教員向け学習会と園の保育士向け学習会を1回ずつ行いました。	A ⊙ B C D
------------	---	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	2	多様性を認め合う教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	湖南省人権教育ネット推進事業の推進
内容	一人ひとりの子どもを中心とした、就学前から高校卒業までの連携した取組のなかで、人権を大切にする子どもを育成するとともに、学校、園、家庭、地域、関係機関が連携した取組を通じて、進路保障の実現をめざします。また女性、子ども、高齢者、障がいのある人、外国人、性の多様性などの人権に関わる課題の解決に向け、命と人権を大切にする教育を推進します。
具体施策	湖南省学校・園人権教育基底プランの実施
内容	人権教育基底プランに基づく保育・授業の実践を通して、発達段階に応じた系統的な人権保育・教育に取り組みます。また、昨年度改訂した基底プランに基づき、各校園が現状の人権課題に沿った人権保育・教育を行えるよう周知し、教職員、保育士等の研修の場を設定します。

3. 数値目標

内容(指標)	人権教育基底プランに基づく保育・授業研究会の実施
実績値(令和2年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
実績値(令和3年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
実績値(令和4年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校2校が実施
実績値(令和5年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校3校が実施
数値目標(令和6年度)	公立保育園・こども園 4年に1回 各校 年1回
実績値(令和6年度)	全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校3校が実施

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度も全小中学校と公立こども園1園、県立学校3校が実施予定です。現時点では、小学校2校、県立学校1校が開催済みであり、令和7年1月末までに、全校・園が実施を予定しており、現在指導案検討などを進めています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	人権教育基底プランに基づく保育・授業研究会を、全ての小中学校と公立こども園1園、県立学校3校で実施しました。指導案の検討や事前授業の参観などを通して、保育や授業の研究を行うことができました。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、おはなし会や人形劇、ブックトークなど、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を支援するとともに、乳幼児健診などの機会を活用した幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	学校図書館の児童生徒一人あたりの年間貸出冊数
実績値(平成30年度)	小学校 30.5冊 中学校 5.1冊
実績値(令和2年度)	小学校 38.6冊 中学校 5.2冊
実績値(令和3年度)	小学校 48.8冊 中学校 6.0冊
実績値(令和4年度)	小学校 37.1冊 中学校 5.9冊
実績値(令和5年度)	小学校総貸出冊数 162,580冊(一人あたり 53.9冊) 中学校総貸出冊数 16,906冊(一人あたり 11.6冊)
数値目標(令和6年度)	小学校 50.0冊 中学校 10.0冊
実績値(令和6年度)	小学校総貸出冊数 151,695冊(一人あたり 53.2冊) 中学校総貸出冊数 13,017冊(一人あたり 8.94冊)

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	図書委員や学校司書によるイベントにより、学校図書館へ来る児童生徒が増えています。中学校では貸出冊数が少ない傾向にあるので、帯コンとコラボなどを行い、貸出冊数を増やしていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>小学校の国語科では、教材での学びと並行して、著者の他の作品を読む並行読書が積極的に行われています。中学校では、国語科以外での活用も増えてきました。そのような取組を横展開しています。</p> <p>学校司書や図書委員、図書ボランティアなど、たくさんの方の力で学校図書館が運営されており、行きたい図書館づくりや本の紹介がなされています。</p>	
------------	---	---

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課・図書館・学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	豊かな心を育む
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を実施するとともに、幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	市立図書館の児童図書の12才以下の子ども一人あたりの年間貸出冊数
実績値(令和2年度)	13.1冊
実績値(令和3年度)	16.1冊
実績値(令和4年度)	15.1冊
実績値(令和5年度)	14.8冊
数値目標(令和6年度)	16.1冊
実績値(令和6年度)	14.5冊

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	$83,524 \text{冊 (令和6年度の児童書の貸出冊数)} \div 5,746 \text{人 (令和6年3月31日現在の湖南省12歳以下の人口)} = 14.5 \text{冊}$ 昨年度同期間と児童書の貸出冊数はほぼ同数です。子どもだけで図書館に来館するより保護者と一緒に来館することのほうが多いので、家族で図書館に魅力を感じるようなイベントを行います。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	昨年度の実績から貸出人数は微増しているものの、貸出冊数は微減しています。市制施行20周年イベント等が本の貸出に結びつかなかったため、継続的に読書の魅力を伝える働きかけを行ってまいります。	A B C D
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課・図書館・学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	3	12
施策	3	読書活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づく読書活動の推進
内容	<p>子どもが読書意欲を高め、読書習慣を身につけることができるよう、乳幼児から発達段階に応じて読書の楽しさを実感できるようにするとともに、いつでも本に親しむことができる読書環境の充実に向けて、子どもと本をつなぐ大人への啓発や人材育成、子どもが本や物語に出会う機会の提供や本を活用した学びの機会の充実といったさまざまな取組を、関係機関が連携し市民の協力を得ながら、令和2年3月に改定された「湖南省読書の魅力種まきプラン」に基づき、計画的・組織的に推進します。</p> <p>図書館では、子どもの成長に資する児童図書の収集と提供を行いながら、本に親しむ機会づくりに努めるとともに、幼児向けの読み聞かせ用図書の貸出を行います。また、母子保健担当部局と連携して、ブックスタート事業※を実施するとともに、幼児期からの「はじめての本」との出会い、親子のふれあい、図書館の児童奉仕活動への誘引、啓発などを進めます。また、子どもの読書活動を推進する司書のスキルアップを図ります。</p> <p>学校図書館では、研究的に取り組んできた成果をふまえながら、学校司書および学校図書館支援センターの役割を明確にし、子どもたちの読書活動を一層推進します。また、学習センター・情報センターとしての機能のさらなる充実を進めます。</p> <p>読み聞かせや蔵書整理など、学校司書の資質向上を図るための研修機会を確保していきます。さらに、学校全体で読書活動が推進できるよう、管理職および司書教諭を核とする充実した図書館教育を授業において進めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	おはなし会などの年間開催数
実績値(令和2年度)	6回
実績値(令和3年度)	4回
実績値(令和4年度)	16回
実績値(令和5年度)	34回
数値目標(令和6年度)	36回
実績値(令和6年度)	51回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	石部・甲西図書館で職員によるおはなし会を毎月1回、甲西図書館ではおはなし会サークルによるおはなし会を毎月1回、対象者毎に2公演行っています。10月には、「秋の図書館まつり」として石部・甲西図書館ともにおはなし会を別途開催しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	毎月の開催以外に、「秋の図書館まつり」での開催や「まちかど図書室」での出張おはなし会を行いました。今後もこどもの読書週間や夏休みなどに開催します。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	1	健康教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	立腰の取組
内容	心身の健康の保持増進を図るために、立腰の必要な知識を習得し、健康・安全を適切に自主管理する態度を育てます。子どもの時期から規則正しい生活を身につけることにより、病気から身体を守り、心身ともに健康な体を養うとともに、学級のあらゆる場面で「立腰」の指導に取り組めます。

3. 数値目標

内容(指標)	授業や部活動などの活動時間を通して立腰指導を行う実施校数
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度も教育委員会として「授業の湖南省スタイル0」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを進めています。学校や担任個人の指導力の差とすることなく、全小中学校が取り組んでいます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	湖南省教育の授業スタイルとしての「授業の湖南省スタイル0」(座る姿勢、書く姿勢、鉛筆の持ち方)の意識付けを図り、学校や担任個人の指導力の差とすることなく、13校すべての学校が取り組みました。立腰を定着させることができました。今後は、健康教育の推進のため、新たなことにも重点を置いていきます。	A (B) C D
------------	---	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	2	子どもの体力向上への取組

2. 具体施策の概要

具体施策	学校体育の充実
内容	<p>学力向上プロジェクトにおいて体育科の授業についても授業改善を行います。「授業のポイント5」、「授業の湖南省スタイル」を活用し、子どもが主体となる授業を展開します。</p> <p>また、始業前・中休み・昼休み・放課後・下校後など、教科外の時間において継続して運動遊びを行うことにより、子どもたちに運動遊びの習慣を身につけさせ、体力の向上を図ります。</p> <p>子どもを運動好きにすることをめざして、小学校における「健やかタイム」を推奨するなど、運動やスポーツを楽しむ、心身ともに健康な子どもの育成に努めます。</p>
具体施策	子どものスポーツ機会の充実
内容	<p>子どもの体力低下や運動・スポーツをする機会が減少する中、幼児期の運動においては遊びを通じて楽しみながら様々な筋肉や神経を使って体を動かすことが、その後の青年期における運動能力に良い影響を与えます。幼児期の運動や遊びを体験できる機会を充実させる取組に努めるとともに、生涯における豊かなスポーツライフを実現するため地域、スポーツ団体と連携し、健康づくりに努めます。</p> <p>また、湖南省ちよいスポクラブでは、複数の種目のスポーツが経験できる地域のスポーツクラブとして、子どもの運動離れの解消に大きな役割を果たしており、継続して加入促進に取り組めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	小学生の一週間の運動スポーツ実施時間が420分以上の割合(授業を除く)
実績値(令和2年度)	男子48.9% 女子30.7%
実績値(令和3年度)	男子45.9% 女子26.1%
実績値(令和4年度)	男子44.8% 女子27.7%
実績値(令和5年度)	男子48.4% 女子26.2%
数値目標(令和6年度)	男子53.2% 女子28.8%
実績値(令和6年度)	男子45.3% 女子22.6%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>児童生徒の体力向上を目的に、小学校では滋賀県教育委員会が行っているチャレンジランキングに積極的に参加し、運動遊びの習慣を身に付けようとしています。また、小学校における「健やかタイム」(10分間運動)を全小学校が実施し、体育科の学習と結びつけることで取組の充実が図れるように取り組んでいます。</p>
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度は男子、女子とも数値を落としました。女子の低下率は顕著であり、各校において日常の運動(遊び)をさらに推進していく必要があります。「健やかタイム」については各校の実情に合わせながら9校において取り組むことができていますが、運動量の増加を検討していきます。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	3	学校保健の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における保健衛生の充実
内容	<p>子どもの生活習慣の改善、向上を図るためには、正しい知識や望ましい生活リズムを身につけさせることが必要であり、家庭や地域と連携した取組を進めます。</p> <p>また、アレルギー疾患、喫煙、薬物乱用などに関する課題や、いじめ・不登校などのメンタルヘルスの課題に対応するため、関係各課との連携を図り、保健衛生の充実を図ります。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	ブラッシング指導による歯磨きの習慣化とともに、小中学生へのフッ化物洗口の取組
実績値(令和2年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
実績値(令和3年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
実績値(令和4年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
実績値(令和5年度)	0校(フッ化物洗口の実施)
数値目標(令和6年度)	歯磨きの習慣化 全小学校9校 全中学校4校 フッ化物洗口 小学校9校1年生
実績値(令和6年度)	歯磨きの習慣化 全小学校9校 全中学校4校 フッ化物洗口 小学校9校1年生

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>令和5年度末にこども子育て応援課と協議をして、5歳児のときに園でフッ化物洗口を実施した小学1年生のうち希望する児童を対象として、1回使い切りのペーストタイプの洗口液を配布し、週1回程度の家庭での実施となりました。令和6年度は、担当課が各校を訪問し、管理職への説明を実施し、令和6年6月頃から順次体制が整った学校から実施をしています。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>この取組の円滑な実施のために、担当課から各小学校への訪問と丁寧な説明がありました。各校の取り組みやすい方法について相談しながら、無理のない方法でスタートすることができたため、大きな混乱なく事業実施ができました。</p> <p>次年度以降も、新1年生の希望者を対象として実施される予定です。</p>	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	毎日朝食を食べる児童生徒の割合
実績値(令和2年度)	小学校5年83.4% 中学校2年72.3%
実績値(令和3年度)	小学校5年82.3% 中学校2年77.8%
実績値(令和4年度)	小学校5年87.9% 中学校2年80.3%
実績値(令和5年度)	小学校5年72% 中学校2年77.5%
数値目標(令和6年度)	小学校5年86% 中学校2年86%
実績値(令和6年度)	小学校5年79.5% 中学校2年74.5%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	令和6年度より、朝食摂取率の調査主体が変更となり結果は令和7年11月末に出ます。各校で日々の食指導や、「保健だより」などによる保護者啓発を行っています。栄養教諭や学校栄養士による食育授業だけでなく、摂取率は家庭的な背景が影響することが多いため、園・学校と家庭が連携を図りながら望ましい食習慣の形成を支援していきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>昨年度に比べて、小学校の摂取率は上がったものの中学校は減少しました。学校での食育の取組について、中学校での取組の充実を図れるよう、栄養教諭とも連携して進めていきます。また、朝食の摂取率は家庭の影響が大きいため、家庭への発信をどのように図っていくのかを考え、さらなる推進をしていきます。</p>	A B C D
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	4	健やかな体を育む
施策	4	食育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	学校における食育の推進
内容	<p>望ましい食習慣の形成には幼少期からの規則正しい食生活が重要です。しかしライフスタイルの多様化により、家庭だけで望ましい食習慣を身につけることは困難となっています。</p> <p>家庭の次に多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校での食育を充実させ、家庭・地域との連携を図りながら、地産地消を取り入れた給食の提供や偏食の減少などの推進に力を入れ、望ましい食習慣の形成を支援していきます。</p> <p>また、教材を用いた食育指導や栄養教諭・学校栄養士・調理師などによる食育授業を充実させ、児童生徒が給食の献立作成をする体験や食について学ぶ機会を増やしていきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	ふれあい食育教室の実施
実績値(令和2年度)	0校(新型コロナウイルス感染症対策のため、ふれあい食育教室中止)
実績値(令和3年度)	9校
実績値(令和4年度)	9校
実績値(令和5年度)	10校
数値目標(令和6年度)	13校
実績値(令和6年度)	10校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度においても栄養教諭による食に関する指導は、市内小学校1・3・6年を対象に計画し、9校全ての小学校において順調に実施されています。また、中学校においても、栄養教諭を中心に1校は実施しています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>今年度においても栄養教諭による食に関する指導は、市内小学校1・3・6年を対象に計画し、9校全ての小学校において順調に実施することができました。</p> <p>また、昨年度は実施されていなかった中学校においては、栄養教諭が在籍している学校においては、実施できているのですが、他校への拡充ができなかったことが課題です。</p>	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	1	特別支援教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	インクルーシブ教育を実現するための特別支援教育体制整備
内容	合理的配慮の決定・合意形成のためにアセスメントの充実を図り、インクルーシブ教育システムの構築に向けて基礎的環境の整備に努めます。巡回相談を活用し、個に応じた適切な就学支援を進めるとともに、巡回相談担当者会議や湖南省専門家チーム会議※で、より専門的な立場からの検討や医療的な助言を得られるようにします。子どもたち一人ひとりの特性や障がいの状況・程度などを的確にとらえた「個別の指導計画」を作成し、その能力を最大限に伸ばすよう努めます。また、「湖南省発達支援システム」を活用しながら関係機関と連携し、子どもが自立し社会参加できる力を一層高めます。保護者・本人との合意形成を図りながら合理的配慮を提供できるよう、保護者への個別の指導計画の提供を行い、活用を図ります。子どもの教育的ニーズに最も応えられる学びの場を検討する、就学支援委員会の取組を継続して行います。また、通常の学級・特別支援学級における支援のあり方を視点とする授業改善を推進し、一人ひとりの学力の向上に努めます。
具体施策	湖南省ことばの教室の運営
内容	各中学校区に「ことばの教室」を設置しており、アセスメントに基づいた個別の指導を実施します。また、一人ひとりの教育的ニーズを受け止めることができるよう、各中学校区に設置されている通級指導教室においても、通級指導と相談支援の充実を図ります。湖南省発達支援ITネットワークを活用し、指導記録を蓄積するとともに、園・学校訪問による、関係機関と校園との連携強化に努めます。加えて、市内の保育・教育関係者を対象として研修会を開催し、市内全体の特別支援教育の質の向上を図ります。市内小学1、2年生に読み書きチェックを実施し、その結果や支援についての情報を各小学校に提供することで、読み書きの力を高める取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通級指導教室通級生の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率
実績値(令和2年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和3年度)	通級指導教室通級生(小学校6年生と今年度通級終了予定児童・生徒)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和4年度)	通級指導教室通級生(全学年)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和5年度)	通級指導教室通級生(全学年)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
数値目標(令和6年度)	通級指導教室通級生(全学年)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%
実績値(令和6年度)	通級指導教室通級生(全学年)の「個別の教育支援計画(新様式)」作成率100%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度も夏季休業中に全小中学校において、個別の指導計画と個別の教育支援計画作成にかかる研修会を実施しました。通級指導教室通級生の個別の教育支援計画については、11月の後期学校訪問において、通級指導担当と学校とで懇談を行い、内容について検討していく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	11月、通級指導教室と学校による懇談において、具体的な内容について話し合いを行い、内容の検討を深めました。保護者への開示、懇談等も各校で計画的に行うことができました。完成した計画は、中学校から進学先への引継については、3月25日に甲賀地域の引継会を甲賀市教育委員会と共催で行います。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
内容	<p>「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組みます。</p> <p>いじめや命の大切さについて考える取組「湖南省いじめをなくそうサミット※」は、保護者の参加を得て充実してきています。各校で児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。</p> <p>また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めていきます。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。</p>
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応
内容	不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしていきます。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行っていきます。

3. 数値目標

内容(指標)	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
実績値(令和2年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和3年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和4年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和5年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
数値目標(令和6年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校
実績値(令和6年度)	スクールソーシャルワーカー 小学校9校 中学校4校 スクールカウンセラー 小学校9校 中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーともに全小中学校に配置することができています。(小学校9校、中学校4校に配置)そのため、不登校児童・生徒の相談、また保護者相談に迅速に対応することができました。月1回開催している巡回相談担当者会議では、他機関との連携や情報共有に努め、関係機関につながっていない児童生徒を減らすための取組を続けています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	不登校数の減少に向けた取組として、月に1回巡回担当者会議を開催し、関係機関が連携して情報共有、役割分担を行い、迅速かつ丁寧な対応をすることができています。今年度はスクールソーシャルワーカーからの報告や会議への参加も依頼しました。年3回のスクールソーシャルワーカー連絡会でも丁寧な情報共有に努めることができました。これらのことから、関係機関につながっていない児童生徒の把握が以前よりの確なものになりました。	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	5	一人ひとりが大切にされる教育・支援
施策	2	児童生徒への支援・相談体制の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	いじめの未然防止・早期発見・早期対応
内容	「湖南省いじめ問題対策連絡協議会等条例」および「湖南省いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組めます。 いじめをなくす取組は各校で工夫して行い、児童生徒が主体となった特色ある活動を展開することにより、一人ひとりが「いじめはいけない」と認識し、進んで行動しようとする決意をもった児童生徒を育てます。 また、自尊感情の向上のために「地域の行事への積極的な参加」を呼びかけ、地域とともに子どもを育てる取組を進めていきます。今後は、各学校で子どもたち自身が命の大切さを自覚し、青春祭(あおはるさい)※などの場を活用したり地域にも発信したりすることを通して、いじめをなくすための行動を起こせるよう取組を工夫します。
具体施策	さまざまな今日的教育課題への対応
内容	不登校数の減少に向けた取組として、市の巡回相談システムなどを利用し、迅速かつ丁寧な対応をしていきます。ケースによっては「ふれあい教育相談室」での指導を依頼し、教室復帰に向けた取組を行います。

3. 数値目標

内容(指標)	不登校児童生徒の関係機関との連携率
実績値(令和2年度)	小学校90.0% 中学校85.2%
実績値(令和3年度)	小学校90.6% 中学校77.8%
実績値(令和4年度)	小学校81.8% 中学校70.4%
実績値(令和5年度)	小学校71.4% 中学校79.6%
数値目標(令和6年度)	小学校80.0% 中学校80.0%
実績値(令和6年度)	小学校90.0% 中学校79.2%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	月1回開催の巡回相談担当者会議では、各小中学校から提出される長期欠席者名簿をもとに、情報を共有し、関係機関につながっていない児童生徒の把握、関係機関の役割分担に努めています。また、一旦つながったケースにおいても、その後どのような実態にあるかを把握し、継続した支援が行えるよう心がけています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	12月末時点での連携率は、小学校90.0%、中学校79.2%で、ほぼ目標値に到達しました。今年度は、各小中学校から毎月提出される長期欠席者名簿をもとに、関係機関につながっていない児童生徒の把握、関係機関の役割分担に努め、さらにつながっていないケースについての現状やつながらない理由等を定期的にチェックするよう、各小中学校に呼びかけました。近年低迷していた中学校の連携率が上がったことは、令和5年度に中学校通級指導教室が新設されたことによる影響と考えられます。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちにに応じた幼児教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の充実
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局が行っているブックスタート事業に協力し、4か月児健診時に保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	保幼小連携教育研修会の参加者数
実績値(令和2年度)	0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、予定していた保幼小連携教育研修会は開催なし)
実績値(令和3年度)	30人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止 県事業「学びに向かう力推進事業」公開研修会に代える)
実績値(令和4年度)	60人(県事業「学びに向かう力推進事業」公開研修会)
実績値(令和5年度)	25人
数値目標(令和6年度)	25人
実績値(令和6年度)	23人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	10月開催の、県事業保幼小接続に関わる研修会での実践報告やシンポジウムで研鑽を深める予定です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	県事業保幼小接続に関わる研修会への参加により、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性や幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの重要性を学ぶことができました。校区ごとに授業参観や研究協議を行い、日々の指導や支援に活かすことに努めました。次年度も幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保し、さらなる連携を図ります。また、県に新設された幼児期教育センター事業を活用していきたいと考えています。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 図書館

1. 評価項目

基本的方向	1	子どもたちに「自尊感情」を醸成する
政策	6	就学前教育の充実
施策	1	一人ひとりの育ちにに応じた幼児教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	園・小学校との連携(再掲)
内容	子ども一人ひとりの健康や成長、発達の過程などを就学先の小学校との間で共有し、幼児期から就学期における子どもの育ちの連続性を確保していき、さらなる連携を図ります。また、入学した児童が、幼児期の教育における遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、学びに向かうことが可能となるようにするためのスタートカリキュラムの充実を図ります。
具体施策	乳幼児向け図書の充実
内容	図書館ではそれぞれの年齢の児童に向けた幅広い分野の資料を収集、整理、提供しています。また、母子保健担当部局と協力の元、ブックスタート事業を実施し、保護者に対して本の大切さを伝えるとともに、誰もが本に触れることができる環境づくりに努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	乳幼児向け絵本コーナーの設置
実績値(令和2年度)	継続
実績値(令和3年度)	継続
実績値(令和4年度)	継続
実績値(令和5年度)	継続
数値目標(令和6年度)	継続
実績値(令和6年度)	継続

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	乳幼児向けの絵本のコーナーを常設し、新刊絵本を購入するとともに、劣化汚損した絵本を買い替えるなどして提供しています。また、令和6年6月の蔵書点検期間終了以降、多目的会議室を「ふれあいコーナー」として開放し、乳幼児と家族がくつろいで絵本を読むことができるスペースとしています。 令和6年4月以降4か月児健診が個別受診となった影響で一旦中断していたブックスタートを10か月児健診において令和6年10月から再開する予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	図書館の乳幼児向け絵本コーナーおよびふれあいスペースを常設しつつ、乳幼児と保護者向けのおはなし会を開催し、10か月健診でのブックスタート事業で多くの人が絵本を手渡し、多くの人が絵本の魅力に触れる機会を持ちました。	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。 今後も、学校・家庭・地域が一体となって子どもの自尊感情を育み、生きる力の根っこを太くする取組を推進します。 また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の充実による地域住民・保護者の学校教育への参画
実績値(令和2年度)	市内全小中学校に設置(9小学校・4中学校)
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	学校運営協議会の全国の設置率は令和5年度で52.3%ですが、本市では令和3年度より100%を達成し、全小中学校がコミュニティ・スクールとなっています。各校には、地域住民や保護者の代表として、8～14名の委員が市より委嘱されています。協議会の適切な運営のためには、助言や情報提供が必要です。そのため教育委員会からも行政委員として各協議会に1名の委員がその任についています。各委員の研修や研鑽による資質の向上は喫緊の課題です。各学校運営協議会は、年間4～5回開催され、そのねらいに応じた部会の活動を計画し、予定通り実施しています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	学校運営協議会の設置率は100%達成しており、すべての小中学校が「コミュニティ・スクール」となっています。すべての学校運営協議会において、年間4～5回の委員会(理事会)を開催しました。最終的には今年度の学校評価に基づき、校長の次年度の学校経営方針について承認を行います。次年度に向けての課題は、各協議会において「学校運営協議会」の果たすべき役割について委員(理事)が共通理解を図り、熟議の内容をさらに充実させていくことです。	A ⊙ B C D
------------	--	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	1	地域と共に歩む学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	地域と共に歩む学校づくり
内容	<p>本市では、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部を導入し、両者の運動性と違いを明確に周知や融合を図りながら、家庭・地域の人々との協働と参画による学校づくりを進めています。</p> <p>今後も、学校・家庭・地域が一体となって子どもの自尊感情を育み、生きる力の根っこを太くする取組を推進します。</p> <p>また、新学習指導要領に示された「地域に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域との連携・協働を推進します。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	地域学校協働本部事業の取り組み
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>国、県の補助事業である「地域学校協働活動推進事業」において市内小中学校に地域コーディネーター(地域学校協働活動推進員)を配置し、地域と学校の連携・協働による教育力の向上を図っています。地域から学校への教育支援活動が年々充実してきており、また学校の児童・生徒たちが地域の活動に参加・参画していくことで地域の活性化に貢献することも期待されています。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>「地域学校協働活動推進事業」における各校の地域コーディネーターの存在は、「地域とともに歩む学校」づくりの要となっています。それぞれの学校では、目指す子ども像を地域と学校が共有しながら、特色ある活動を推進しました。湖南省教育委員会では、年2回運営委員会を開催し、市内全体または中学校での情報共有を密にして、コーディネーターのスキルアップを図ることができました。今年度も各コーディネーターが抱える悩みや課題を共有し、解決策を考える研修の機会を設けました。学校とボランティアをつなぐ役割を十分に果たすためには、学校との連携強化が必要であることを再確認しました。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	--	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	7	学校・家庭・地域の連携と協力により教育力を高める
施策	3	地域や地元企業との連携促進

2. 具体施策の概要

具体施策	企業などの社会貢献活動の促進と学校教育環境の充実の好循環
内容	企業・事業所や団体による寄付行為などの学校応援の輪を拡大するとともに、学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図るため、「学校教育きらめきサポーター事業」の取組を継続して推進します。

3. 数値目標

内容(指標)	学校教育きらめきサポーター事業認証事業所数
実績値(令和2年度)	2事業所
実績値(令和3年度)	3事業所
実績値(令和4年度)	6事業所
実績値(令和5年度)	1事業所
数値目標(令和6年度)	5事業所
実績値(令和6年度)	1事業所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	対象となる実績は1件ありました。引き続き、湖南省の学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図っていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度は1件(1事業所)を認証しました。事業の趣旨にある「湖南省の学校教育環境のさらなる充実と企業・事業所や団体の社会貢献活動の推進の好循環を図る」ため、今後も継続して実施していきたいと思っております。	A B <input checked="" type="radio"/> C D
------------	---	--

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課・図書館

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	1	多様な学習機会の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	地域に密着した学習機会の提供と人材の育成
内容	地域の課題解決や多様化する市民ニーズに応じた学習機会の充実と情報提供に努めるとともに、生涯学習の推進を図るため、地域にある身近な場所で主体的に学習活動が行えるよう、学びの場づくりを支援します。 また、地域の文化や学びの成果を活かして、市民が体系的に学び、力を発揮できる場や仕組みの検討、市民参画の場の充実と社会教育団体の育成支援に努めます。
具体施策	公立図書館の充実
内容	図書館がその機能を果たすためには、新鮮で魅力的な資料があること、資料を知り、資料と市民とを結ぶ職員がいることが大切です。市民のニーズを把握し、両図書館および移動図書館で、蔵書の充実を図ります。 施設内では、だれもが快適に利用できる環境を整えるとともに、社会の変化に対応したサービスの実施に取り組みます。 また、利用案内チラシやホームページを活用することで、図書館を利用していない人へのアプローチも図ります。 図書館に来館することが難しい市民に対しては平成30年11月に開設した電子図書館によって資料提供を図ります。また、地域資料のデジタル・アーカイブ化に向けて環境を整えます。 市民の生涯学習推進の拠点施設として、展示や講座、講演会などの集会行事を実施し、文化情報の発信をめざします。 地域との協働においては、展示・講演などの活動発表の機会の提供に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	図書館の年間新規利用登録者数
実績値(令和2年度)	1,008人
実績値(令和3年度)	1,110人
実績値(令和4年度)	962人
実績値(令和5年度)	848人
数値目標(令和6年度)	893人
実績値(令和6年度)	740人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	9月末時点では目標値の半分に満たないですが、10月の市制施行20周年イベントや「秋の図書館まつり」でPRを強化していく予定です。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	転入者セットやブックスタートセットに図書館利用案内を入れることを継続するとともに、市制施行20周年イベントでの来館者や、今年度より設置した学習スペースの利用者に、利用券登録を呼びかけましたが、目標に達しませんでした。	A B C D
------------	--	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	出会い・気づき・発見講座や保護者講座の参加者のアンケートで「大変良かった」、「良かった」と回答した人の割合
実績値(令和2年度)	87.8%
実績値(令和3年度)	98.7%
実績値(令和4年度)	93.9%
実績値(令和5年度)	96.4%
数値目標(令和6年度)	90.0%
実績値(令和6年度)	99.7%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	今年度の出会い・気づき・発見講座(保護者講座)はすべて滞りなく開催できました。7月に3回、8月に1回開催し、現代社会を生きる子どもたちを取り巻く環境の変化に触れながら、参加者一人ひとりが自身の人権感覚をアップデートさせることができる研修となりました。参加者は4回合計194名であり、99.7%の参加者が「大変良かった」、「良かった」と回答しました。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度は「出会い・気づき・発見講座」を4回、「豊かなつながり創造講座」を4回、計8回の講座を対面方式で開催しました。参加者は合計367名で、アンケートには322名の方に回答いただき回答率は87.7%となりました。「大変良かった」または「良かった」と回答した人数の割合は99.7%と目標数値を達成しました。 来年度以降も市民ニーズをより一層把握し、Zoomなど参加方法も検討するなど満足度の高い講座となるよう努めていきます。	Ⓐ B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	8	「学び」を身近に感じ、「学び」を実践できる環境をつくる
施策	5	人権意識の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	関係団体との連携・協働による市民への啓発活動の推進
内容	市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、自分自身の課題としてとらえ、人権尊重の精神を日常生活に活かせるよう、さまざまな場で人権について考える機会を設けます。また各種団体と連携し、人権尊重の精神にあふれたまちづくりを進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	人権まちづくり懇談会で人権について話し合い、学ぶ活動への市民の参加人数
実績値(令和2年度)	869人
実績値(令和3年度)	732人
実績値(令和4年度)	650人
実績値(令和5年度)	1,287人
数値目標(令和6年度)	1,800人
実績値(令和6年度)	1,526人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	人権まちづくり懇談会は、各区ごとに計画、開催されています。人権まちづくり懇談会推進班員説明会(職員向け)は6月12日から14日にかけて2回実施し、43名の職員の参加がありました。また、人権まちづくり懇談会説明会(地域向け)は6月24日～26日にかけて5回実施し、107名の参加がありました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	市内43区で年2回の開催をお願いし、各区において開催内容を検討し取り組んでいただきましたが、参加者合計1,526人と目標数値は達成できませんでした。来年度以降も、より多くの市民が参加できるよう、課題の検討などを各区とともに進めていきます。	A B C D
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	1	家庭の教育力の向上

2. 具体施策の概要

具体施策	ICTリテラシー教育の推進
内容	スマートフォンなど情報機器の正しい使い方が実践できる取組を、子どもたちへの実態調査・保護者への啓発と併せて実施し、「湖南省スマホ使用3ヶ条」の浸透を図ります。また、PTA・学校・子どもとの連携を通じて、情報機器の「使用マナーの意識化、使用のルールづくり」をさらに進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	教職員を対象としたICTリテラシー講座の開催
実績値(平成30年度)	小学校4校 中学校2校
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	市内全小中学校のICT活用推進委員を集めた会議を1回開いています。その中で、ICTリテラシーに関わる各校の取組や課題を共有しています。次回の会議を11月に行い、これまでの取組の成果や課題を共有する予定です。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	長期休暇前など適切な時期に警察や電話会社等を外部講師に招いての特別講座を全ての小中学校で実施できました。中学校では、入学説明会に警察を招き、保護者にも講座を開くことができています。	(A) B C D
------------	--	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	9	家庭の教育力を高める
施策	2	家庭教育を支援する人材育成

2. 具体施策の概要

具体施策	親育ての場の提供と人材の育成	
内容	<p>各家庭で、親の自主的な判断に基づき家庭教育が行われるためには、子育てに関する親の不安や悩みを解消する場が必要なことから、悩みを抱える親が相談できる場づくりの充実に努めます。また、関係機関と連携し、子育てに関する学習機会や情報の提供に努めます。</p> <p>さらに、社会全体で家庭教育を支える必要性が高まっていることから、助言や指導を行えるよう人材の育成に努めます。また、地域全体で子育てに対する意識の向上と輪の拡大に努めます。</p>	

3. 数値目標

内容(指標)	家庭教育講座の参加人数
実績値(平成30年度)	102人
実績値(令和2年度)	44人
実績値(令和3年度)	84人
実績値(令和4年度)	49人
実績値(令和5年度)	123人
数値目標(令和6年度)	110人
実績値(令和6年度)	112人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>今年度は全5回の講座とし、第1回を9月7日(土)、第2回を9月8日(日)、第3回を9月12日(木)、第4回を9月28日(土)に開催し、合計83人(37組)が参加され、家庭で実践できる親子の触れ合い遊びや、絵本に出てくるお菓子作り、スマホカメラで子どもをかわいく撮る方法について、親子で楽しく学べる機会を提供することができました。5回目は、絵本に出てくるおにぎりを作ろうというテーマで、絵本の読み聞かせとおにぎり作りの講座を開催予定です。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>調理系の講座を企画したところ、定員以上の申し込みがあり、親子で触れ合いながら作業でき、家庭でも簡単に実践できる内容が求められているのだと実感しました。その他の講座についても、満足度が高い結果となりましたが、保護者のみを受講する形式の講座は参加人数が少なかったため、より保護者のニーズに合致した内容を実施していきたいと考えております。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	教育支援課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	1	青少年の交流と活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	青少年の体験活動の機会の充実と社会参加の促進
内容	<p>各種青少年団体の育成支援と、青少年育成市民会議、学区民会議をはじめとする青少年に関わる各種団体への支援を通じて、体験活動の機会の充実に努めます。</p> <p>また、青少年の活動の場がつけられるよう地域に働きかけを行い、子どもと地域住民との交流の機会を促進するとともに、青少年が社会や地域に参画する機会の提供に努めます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	10代の青少年を対象とした事業の実施(「青春祭(あおはるさい)」など)
実績値(令和2年度)	体験事業 16件 子ども若者育成支援強調月間(11月)に合わせて、広報誌「育み」を8,000部発行
実績値(令和3年度)	「17th青春祭(あおはるさい)2021」実施
実績値(令和4年度)	「18th青春祭(あおはるさい)2022」実施
実績値(令和5年度)	「19th青春祭(あおはるさい)2023」実施
数値目標(令和6年度)	「20th青春祭(あおはるさい)2024」実施
実績値(令和6年度)	「20th青春祭(あおはるさい)2024」実施

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>11月24日(日)の甲西文化ホールでの開催に向け、日枝中学校および甲西北中学校の生徒で構成する実行委員とともに6月から実行委員会を実施して準備を進めています。</p> <p>各学区民会議、小中学校、PTA、コミュニティスクール等に参加を呼びかけ、青春祭(あおはるさい)開催後は、湖南省青少年育成市民会議の広報紙「育み」にて、市内に広く周知・啓発を実施したいと思います。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>11月24日(日)に甲西文化ホールで開催し、421人の参加がありました。甲西北中学校および日枝中学校の生徒13人が実行委員として企画・運営を行いました。20回の記念大会ということで、「お祭りみたいになりたい!」という実行委員企画の発案、オリジナルグッズやサプライズプレゼント、ステージ看板、チランの作成、当日の運営などを主体的に進めていました。プログラム・会場玄関の看板は市内中学校、高等学校の部活動に作成していただきました。</p> <p>青春祭(あおはるさい)開催後は、湖南省青少年育成市民会議の広報紙「育み」を発行し、市内に広く周知・啓発を実施しました。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	教育支援課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区区会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動を実施します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	無職少年の就労のための企業訪問の実施回数
実績値(令和2年度)	新型コロナウイルス感染拡大防止により企業訪問は中止。 代替りとして、来所相談及び電話相談を129件受けました。
実績値(令和3年度)	12回
実績値(令和4年度)	16回
実績値(令和5年度)	19回
数値目標(令和6年度)	20回
実績値(令和6年度)	23回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>9月現在、企業に就労している少年の様子を見るための訪問が複数回あり、就労していた少年が欠勤が多く、企業と今後の在り方を協議するための訪問が複数回ありました。</p> <p>アルバイト就労を希望していた少年とともに企業に挨拶をおこないました。</p> <p>現在は、正社員として就労を希望していない少年が多く在籍していますが、今後、就労を希望する少年のためにネットワークを広げておくように対応していきます。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>無職少年の就労支援が少なかったが、ひきこもり傾向の少年がアルバイトで週3回スーパーの清掃に行けるよう支援し、ひきこもり傾向の少年(女子)を、週3回の弁当屋のアルバイトにつなげ定着できるように支援したほか、ひきこもり傾向の外国籍少年を週1回の自動車整備企業へアルバイトに行けるように支援できました。市内企業のほかにも、少年を受け入れてくださる総合人材サービス「ワークスタッフ」の方が来所され、ニーズが出てきたら紹介できる体制を整えられました。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	2	学校・家庭・地域との協働による教育力の向上に取り組む
政策	10	青少年の健全育成を図る
施策	2	青少年健全育成活動の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	関係機関と連携した活動実施と、課題をもつ少年の対策・居場所づくり
内容	<p>青少年育成市民会議・学区民会議をはじめとして地域住民の協力を得ながら、青少年にふさわしい環境づくりのために、地域で子どもを守り育てる輪の拡大に努めます。</p> <p>また、関係機関と連携し巡回活動を実施します。</p> <p>非行など課題のある少年については、生活改善や就学・就労対策を行う一方で、さまざまな問題を抱え、自分の居場所もなく悩み苦しんでいる少年が、自分自身を見つめ直して健やかな成長をしていくために、カウンセリング機会を設けるなどの支援を行います。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	課題をもつ少年や家族との専任カウンセラーによるカウンセリング回数
実績値(令和2年度)	23回
実績値(令和3年度)	21回
実績値(令和4年度)	22回
実績値(令和5年度)	40回
数値目標(令和6年度)	45回
実績値(令和6年度)	46回

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	9月現在で21回。今年度は、学校や集団生活への不安を抱える学生やその家族からの相談が多く、対応しています。今後は、少年や家族の様子を聞き取り、専門的なカウンセリングにより、自覚的な生活改善や立ち直りへの支援を行っていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>カウンセラーの活用状況は、3月末現在で、少年(2名)22回・保護者(3名)18回です。また、支援のための情報共有の場として、年間6回のブロック会議を開催しています。近年、少年へのカウンセリングより、保護者対応の方が増加傾向にあります。少年にとっての一番の理解者・支援者は保護者です。その保護者を安定させ、適切な対応の方向を助言することにより、少年の課題が減少してきています。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	--	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施	
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。	
具体施策	通学路などの安全対策	
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的にも実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。	

3. 数値目標

内容(指標)	消防署と学校防災教育コーディネーターが連携して行うモデル型避難訓練校の実施校数
実績値(令和2年度)	小中学校0校(新型コロナウイルス感染症の防止のため実施せず)
実績値(令和3年度)	小学校8校 中学校0校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	小学校8校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	市内小中学校13校すべてにおいて、消防署と連携した訓練を計画しています。また、警察と連携した不審者対応訓練を小学校で複数校実施しています。今後は中学校においても警察とも連携した訓練をができるよう進めていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	消防署と学校防災教育コーディネーターが連携した避難訓練については、消防署が直接訓練に参加できた場合や事前事後のアドバイス等、各校の実情に合わせた形での訓練が全小中学校にて行えました。また、取組の充実を図って、年度当初と年度末に教頭会に消防署を招き、説明と講評をいただく場を設けました。	Ⓐ B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	地域まちづくり協議会や保護者と連携して行う訓練
実績値(令和2年度)	小学校2校
実績値(令和3年度)	小学校1校
実績値(令和4年度)	小学校2校
実績値(令和5年度)	小学校8校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校
実績値(令和6年度)	全小学校9校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	保護者と連携した避難訓練については、隔年で行っているところも含めると、9校において実施しています。しかしながら、引き渡しをスムーズに行うことを目的としてしまっている部分がありますので、訓練の目的を明確にし、今後の訓練に生かしていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	まちづくり協議会と連携しての訓練は1校について実施することができました。保護者と連携した災害時の引き渡し訓練は8校で実施しました。外国籍が多い学校においても引き渡し訓練を実施することができました。今後は、訓練の目的を明確にして内容の充実を図っていきます。	Ⓐ B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるために、通学経路の確認や見直しを定期的に行うことを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の合同点検箇所(累積)
実績値(令和2年度)	157か所
実績値(令和3年度)	187か所
実績値(令和4年度)	213か所
実績値(令和5年度)	245か所
数値目標(令和6年度)	380か所
実績値(令和6年度)	271か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	合同点検実施日:9月4日、10日、17日、27日(4日間) 前年度:4日間 点検箇所:26か所(12小中学校) 前年度32か所(全小中学校) 昨年度から1校園の要望上限数を2か所から3か所に増やし、より多くの危険箇所の把握に努めております。 合同点検は学校関係者だけでなく、区長、PTA、地域の関係者などに立会していただき、より多くの関係者と危険箇所の状況把握や対策内容を共有することができています。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和6年度実績 271か所【累計】 甲賀警察署や県と市の担当部署、おうみ通学路交通アドバイザー、各校担当者 と連携して通学路の合同点検を実施することができました。昨年度から1校園の 要望上限数を2か所から3か所に増やしておりますが、要望は26か所しかありま せんでした。全要望箇所について合同点検を実施しました。	A B C D
------------	--	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課・教育支援課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	1	安全教育の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	安全教育の実施
内容	警察署などと連携し、小学生は横断歩道の渡り方、中学生は自転車の安全な乗り方を中心とした交通安全教室を実施します。 また、消防署などと連携して避難訓練を実施します。授業時間中に予告して行う定期的な訓練だけでなく、休み時間の訓練や保護者への引き渡し訓練など、さまざまなケースを想定し工夫をして訓練に取り組みます。 不審者に遭遇した際には、その場を離れる、近くの大人に助けを求めるといった対応が児童生徒に求められます。どのような場面においても自ら判断し対応できるよう、生徒指導担当を通して指導に取り組みます。
具体施策	通学路などの安全対策
内容	児童生徒が安心して通学できるように、通学経路の確認や見直しを定期的実施することを促すと同時に、ボランティアや地域のさまざまな団体の協力を得ながら、児童生徒の登校中の見守り活動などの取組を推進します。 また、未就学児が日常的に集団で移動する経路についても同様に危険箇所を把握するため、湖南省通学路安全推進プログラムを見直し、健康福祉部幼児施設課についても組織の構成員とします。通学路などに関わる関係機関が連携し、通学路や未就園児の移動経路の危険箇所についての合同点検の実施、対策の検討をはじめとする取組を効果的に進めながら安全確保に努めます。

3. 数値目標

内容(指標)	通学路など危険箇所の対策実施箇所(累積)
実績値(令和2年度)	81か所
実績値(令和3年度)	102か所
実績値(令和4年度)	136か所
実績値(令和5年度)	180か所
数値目標(令和6年度)	200か所
実績値(令和6年度)	205か所

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	通学路など危険箇所の対策実施箇所については、合同点検を通じて各関係機関と連携し対策を協議中です。通学路の緊急点検等の安全点検を引き続き実施し、対策を講じていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	通学路等危険箇所数については、通学路等の合同点検・緊急点検を行い、対策について各関係機関と協議を行いました。令和6年度行った合同点検は26か所です。令和6年度の危険箇所は24か所で対策実施済です。	(A) B C D
------------	--	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	11	信頼される学校を創る
施策	2	開かれた学校づくりの推進

2. 具体施策の概要

具体施策	絶えず地域へ情報発信する取組
内容	<p>各校の活動の様子は、定期的な校報やホームページ、タウンメール、プレスリリースなどによって積極的に発信するように努めます。また、保護者懇談会や学校運営協議会などを通じて、学校の現状や今後の活動を広報していきます。さらに、学校公開や地域を交えて実施する行事など、子どもたちの様子を伝えていきます。</p> <p>学校評価としては、定期的に自己評価・学校関係者評価を継続しながら、客観的な視点でも学校の教育活動を評価できるように努めます。</p> <p>各校では、「滋賀教育の日」の活動に賛同し、学校公開の場を設定しています。児童生徒への教育について、保護者や地域住民とともに考える場を継続して設けます。また、各校において新たな取組について模索します。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	学校公開日の実施校数
実績値(令和2年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和3年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和4年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和5年度)	全小学校9校 全中学校4校
数値目標(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校
実績値(令和6年度)	全小学校9校 全中学校4校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	各校とも学校行事や保護者連絡等の対応について、ホームページや校報、メール配信サービス等を通じて積極的に保護者や地域に向けて情報を発信しています。10月からは、デジタル連絡ツール「スクリレ」を活用し、保護者と学校の連絡がより円滑に行えるよう、7月校長会にて市教委や事業者から説明を行い、現在実施に向けて、各校で準備を行っています。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>湖南省内すべての学校・中学校区がコミュニティ・スクールとなっており、地域と協働して、学校運営に取り組むことができました。また、各校とも学校行事や保護者連絡等の対応について、ホームページや校報、新たに取り入れたデジタル連絡ツール「スクリレ」を活用し、スピーディーそして円滑に情報共有を行うことができるようになりました。次年度も校報、ホームページ、プレスリリースなどによって積極的に情報発信するように努め、地域とともにある学校づくりをめざしていきます。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設の環境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	トイレ洋式化工事実施数 ※トイレ洋式化率約70%とは、各トイレに2基以上の大便器がある場合は、1基は和便器を残すこととしており、学校全体として平均約70%以上のトイレ洋式化率を目指すこととしています。
実績値(令和2年度)	4校
実績値(令和3年度)	7校 残り6校のトイレ洋式化率は以下のとおり。 (石部南小学校34.0%、三雲小学校28.1%、菩提寺北小学校36.1%、下田小学校59.6%、石部中学校39.5%、甲西北中学校26.6%)
実績値(令和4年度)	10校 残り3校のトイレ洋式化率は以下のとおり。 (菩提寺北小学校36.1%、下田小学校59.6%、石部中学校39.5%)
実績値(令和5年度)	13校
数値目標(令和6年度)	13校
実績値(令和6年度)	13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
(可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	令和5年度で全小中学校のトイレ洋式化率が約70%になりました。
------------	---------------------------------

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	令和5年度に目標を達成しています。	(A) B C D
------------	-------------------	-----------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	1	学校環境整備の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校施設的环境整備事業
内容	学校施設の整備は、地域の拠点としての役割を踏まえつつ、良好で質の高い教育環境を確保できるよう、バリアフリー化やユニバーサルデザインを推進しながらトイレの洋式化やICT環境整備など、学校施設の機能向上を図ります。
具体施策	効率的な施設改修の推進
内容	小中学校施設の老朽化が進んでおり、計画的な長寿命化改修と適切な維持管理をおこなうことが重要であることから、学校施設における長寿命化計画を策定し、将来的な学校のあり方も含め、限られた財源のなかで効率的に改修などができるよう取組を進めます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校施設長寿命化計画の策定
実績値(令和2年度)	策定
実績値(令和3年度)	策定
実績値(令和4年度)	計画の実施
実績値(令和5年度)	計画の実施および見直し実施
数値目標(令和6年度)	計画の見直し実施
実績値(令和6年度)	計画の実施および見直し実施

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を令和6年3月で改訂しました。この計画に基づき今後も取り組んでいきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	「湖南省公共施設等総合管理計画個別施設計画」を令和7年3月で改訂しました。この計画に基づき今後も取り組んでいきます。	Ⓐ B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課

教育総務課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	12	教育環境の充実を図る
施策	2	学校給食の充実

2. 具体施策の概要

具体施策	学校給食の効率的な運営
内容	児童生徒に栄養バランスの採れた給食を提供するとともに、栄養士による食指導や調理内容の充実に取り組めます。また、学校給食センターにおいて保育園・幼稚園・認定こども園、小学校低学年を対象にした見学会の開催や、卵アレルギー対応食の実施を引き続き行います。

3. 数値目標

内容(指標)	小中学校に提供する和え物献立の残食率
実績値(令和2年度)	小学校 14.6% 中学校 22.4%
実績値(令和3年度)	小学校 14.0% 中学校 21.2%
実績値(令和4年度)	小学校 17.6% 中学校 24.3%
実績値(令和5年度)	小学校 19.5% 中学校 24.2%
数値目標(令和6年度)	小学校 10.4% 中学校 14.7%
実績値(令和6年度)	小学校 17.7% 中学校 22.6%

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	残食率の平均値は、令和6年9月30日現在、小学校19.5%、中学校23.5%となっています。今年度も栄養士による食指導を実施し、栄養をしっかりと取ることの大事さを伝えながら、残食率の低下に努めてきました。課題として、給食センター職員および栄養士の働きかけだけでは、一時的なもので終わるため、教職員の協力が必要と考えます。 今後も、栄養バランスの大事さを伝える食指導を実施しながら、残食率の低下につながるよう努めていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	残食率の平均値は、令和7年3月31日現在で、小学校17.7%、中学校22.6%となっています。令和6年9月30日現在と比べて、残食率は小学校-1.8%、中学校-0.9%と減少しています。残食率が下がった理由は、約50回の小学校での栄養士による食指導の実施により、栄養をしっかりと取ることの大事さを子どもに伝え、子どもの食に対する理解の深まりや、学校と連携した取り組みによる効果が考えられます。子ども一人ひとりで、食べることのできる量は違います。センターは食べてほしい量を提供していますが、子どもが食べることのできる量も満たせるように、工夫が必要と考えています。	A B C D
------------	--	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	教員のニーズに合う多様な研修の開催(教師力アップセミナー)
実績値(令和2年度)	14講座 のべ270人
実績値(令和3年度)	14講座 のべ305人
実績値(令和4年度)	18講座 のべ435名
実績値(令和5年度)	22講座 のべ414名
数値目標(令和6年度)	30講座 のべ425名
実績値(令和6年度)	30講座 のべ425名

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	<p>他市や市内園の先生の参加も多数あり、今後も教職員の関心の高い講座の開設に努めるとともに、教職員が講師として活躍する場を設けていきたいと考えています。(学校が)休み期間中に研修を受けることで、普段はなかなか時間をかけて学べない分野にも手を伸ばして学ぶ先生も多かったです。</p>
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	<p>教職員が、セミナー受講するだけでなく、講座を開設して講師を務めて参加者からフィードバックを得ることができることが本市セミナーの魅力です。今年度も、講座を開設した先生から学びになったという声を聞くことができました。また、昨年度よりも主体的に講座を開設した教職員が多くなりました。受講者にとって、魅力的な講座を選択できる本市セミナーのよさを次年度も続けていきます。</p>	<p>Ⓐ B C D</p>
------------	---	----------------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	1	教師力・組織的対応力アップへの取組

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の資質と実践的指導力の向上
内容	<p>「講師は本市の教員が行う」、「自分のニーズに合った講座を選択する」をコンセプトに「教師力アップセミナー※」を夏季休業中に実施します。講師を務める教員は、得意分野で力を発揮できるだけでなく、自己の実践を整理・分析する機会をもつことができます。また、受講する者は身近にある優れた実践にふれるだけでなく、受講後も講師とつながることで積極的に授業実践を行うことができます。</p> <p>また、意欲と向上心をもった市内の若手、中堅教員対象の「湖南省現職アドバンス研修」を教員養成に実績のある東京学芸大学との連携で行います。ともに研修を受けることで、「授業力の向上」という同じ志をもつ仲間としてつながるだけでなく、学んだ授業改善の方策を自己の実践につなぐとともに、市内各校の研修成果を普及する一助となります。</p>
具体施策	組織対応と関係機関との連携強化
内容	<p>園・学校や関係機関が、子どもや家庭を支える仕組みづくりをめざすために社会福祉士・スクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーや、関係機関と連携したケースワークを行います。</p> <p>そのために、各課題に対して長期・短期目標、役割分担を明確にしたアセスメントを立て、無理や無駄のない運営に留意していきます。「アセスメントシート」、「湖南省発達支援ITネットワークの記録」を蓄積することにより、ケース担当者が替わっても支援体制を引き継いでいくシステムを確立していきます。</p>

3. 数値目標

内容(指標)	市教委から各小中学校へ関係機関の活用促進・連携強化に伴う指導・働きかけ
実績値(令和2年度)	年間2回×13校
実績値(令和3年度)	年間2回×13校
実績値(令和4年度)	年間2回×13校
実績値(令和5年度)	年間2回×13校
数値目標(令和6年度)	年間2回×13校
実績値(令和6年度)	年間3回×13校

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	年度初めの校長会、特別支援教育コーディネーター連絡会でアセスメントシートを提示し、積極的な活用を勧めることができました。また、不登校傾向のある児童生徒を含む、支援を必要とする児童生徒への働きかけやアセスメント、関係機関との連携について、フローチャートなどを示して指導・啓発を行いました。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	2月開催の保幼小中特別支援教育コーディネーター会議において、「ここあいパスポート」の活用に関わる研修を行いました。研修の中で、関係機関との連携の必要性について指導・啓発することができました。また、毎月の校長会教頭会においても、関係機関との連携について繰り返し伝えました。長期欠席者報告の中で、関係機関につながっていない児童生徒へのチェックを定期的に行い、各小中学校にも指導し、連携強化に努めることができました。	A B C D
------------	---	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課 学校教育課

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組めます。

3. 数値目標

内容(指標)	学校支援員の配置
実績値(令和2年度)	76人
実績値(令和3年度)	87人
実績値(令和4年度)	80人
実績値(令和5年度)	72人
数値目標(令和6年度)	70人
実績値(令和6年度)	77人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	学校支援員は、教員業務支援員と名称を変え、より働き方改革を意識した業務内容で学校を支援いただいています。配置人数は、現在70人であり、当初予定の時数分の配置ができています。また、ベネッセコーポレーション教育イノベーションセンター主任研究員の庄子寛之氏を「湖南省教職員のウェルビーイングに関するコンシェルジュ(湖南省WBC)」に任命し、8月2日に保育士教職員夏季全員研修会を実施し、各校での働き方改革の取組についてヒントを得ました。今後は、10月21日に甲西北中学校、10月22日に岩根小学校にて、庄子氏をお招きし、働き方改革における教職員のさらなる意識改革や取組実践について、市内の学校へ横展開を図っていきます。
------------	--

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	教員業務支援員について、より効果的な活用ができるよう、校長会で各校の状況について情報交換しました。教員のさまざまな業務を支援していただくことにより、業務改善が進んでいます。 また、ベネッセの庄子寛之主任研究員からは、岩根小学校、甲西北中学校での研修会にて働き方改革における教職員の意識改革について学ぶことができました。今後も、教員業務支援員の活用とともに、教職員の働き方改革への意識をさらに高められるよう取り組んでまいります。	A B C D
------------	--	---------

令和6年度 湖南省教育事業評価シート

所管課	学校教育課
-----	-------

1. 評価項目

基本的方向	3	安全・安心で質の高い教育環境を整備する
政策	13	教職員の働き方改革を行い、教育の質的向上を図る
施策	2	教職員の働き方改革の推進

2. 具体施策の概要

具体施策	教員の働き方改革の推進
内容	各学校において業務の見直しを進め、地域や保護者の理解を得ながら、教員が子どもと向き合う時間の確保を図ります。また、教育の質を高めるための働き方改革を進めるため、外部講師を招き教員、保護者を対象とした「働き方改革研修会」を実施、全国の事例を聞きながら現状の課題を共有し、教員の意識改革に取り組みます。

3. 数値目標

内容(指標)	部活動指導員の配置
実績値(令和2年度)	5人
実績値(令和3年度)	8人
実績値(令和4年度)	8人
実績値(令和5年度)	8人
数値目標(令和6年度)	10人
実績値(令和6年度)	8人

4. 進捗状況(9月30日現在)

※今年度取り組んだこと、これからの方向や実施することを記載する。
 ※進捗の遅れ、また懸案や課題等もある場合はその内容も記載する。
 (可能な限り、上記に数値を盛り込むこと。)

実施内容(進捗実績)	全中学校、それぞれ2名の配置ができています。今後、運動部の部活動が地域移行していくためには指導員を増員することなく、地域文化スポーツクラブの充実が必要です。そのため、部活動指導員から地域の指導者に移行できるよう進めていきます。
------------	---

5. 所管課評価(最終)

A: 目標以上の取組ができた B: 目標通りの取組ができた C: 目標までの取組ができなかった D: 全く取組ができなかった

実施内容(最終実績)	今年度においても4中学校それぞれに2名ずつ配置することができ、教職員の負担軽減や技術指導において一定の効果がありました。来年度以降は、部活動指導員を増員してだけでなく、部活動の地域展開に向けた指導者の拡充について取り組んでいきます。	A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> D <input type="radio"/>
------------	--	--